



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

かいっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校だより

R3.11.26 No.48



○ 紙芝居の読み聞かせ（5・6年生）

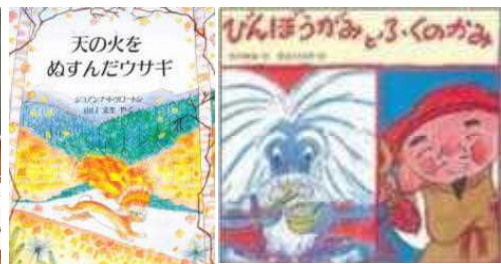
11月25日（木）、5・6年生を対象に、ブックマの方に、紙芝居『こどもたちの福井空襲』の読み聞かせを行っていただきました。今から76年前の悲惨な出来事で、当時を経験した人がどんどん少なくなっています。

子どもたちはどんなことを思いながら聴いていたのでしょうか・・・



○ ブックトーク（3年生）

11月26日（金）、3年生に、南条図書館の司書の方から本を紹介していただきました。みんなこの時間を楽しみに待っていたようで、とても集中して聴いていました。



他に
『うさぎとかめ』
『かちかちやま』
『いなばのしろうさぎ』
を紹介していただきました。

○ Yahooニュースより（一部抜粋）

※保護者向けです。

「子どもとゲームの関係」みんなはどう考えた？

11月23日は「ゲームの日」。新型コロナ感染拡大の影響で、スマートフォンやゲーム機などでゲームを楽しむ人が増えている一方、香川県が昨年4月、ネット・ゲーム依存症対策条例を施行するなど、子どもに対してゲームの利用を規制する動きがみられる。Yahoo!ニュースがコメント欄で意見を求めたところ、2500件を超えるコメントが寄せられた。

※香川県では昨年4月、ネット・ゲーム依存症対策条例が施行されました。条例に罰則はありませんが、18歳未満のゲーム利用は平日では1日60分、休日は90分を目安とし、各家庭で決めたルールを守らせるよう保護者が努めなければならないと定めています。

【メリットが大きいと考える意見】

多かったのがコミュニケーションの機会になるとの意見。「ポケモンで盛り上がる友達とかが良い例。友達が出来て、学校に行くのが楽しくなる。」などの声があった。また「コロナ禍で外に遊びに行けない状況。息子は宿題や食事を終わらせた後、ゲームでワイワイ会話をし、『家にいながら』友達と遊んでいました。」など、コロナ禍での有用性を指摘する声も。「うちの子は軽度知的障害と軽い麻痺が手足にあります。一人で外出などは無理ですが、ゲームは指先や調べ物、友達とのやり取りの訓練になりとても役に立っています。」との声もあった。「桃鉄で日本の地名と名産品、信長の野望で戦国時代など、ゲームがなかったら、これらを知る機会がなかった人は多いでしょうね。」「パソコンの扱いに興味を持って、ブラインドタッチやネットを介したビジネスに大いに役立った。」など、知識やITスキルを得たという人も多かった。

【デメリットが大きいと考える意見】

ゲームの依存性を指摘する声が目立つ。「去年の3月～5月。小学校高学年の娘は約束を守れなくなり、ゲーム漬けに。現在、自律神経を壊し起立性調節障害や過敏性腸症候群をかかえています。不登校です。」と、コロナをきっかけにゲームとの付き合い方が変わってしまった人も。「今の小学生を見てると、弱いから課金しようなど直ぐ口にしします。実際、課金したくて、息子にお金取られました。」と、課金できるゲームについては制限すべきとする意見も多かった。「2.0あった視力が一気に0.5と0.2に落ちました。」と、視力への影響を気にする声も。「中1のうちの子、もともと興味の幅が広がったのに、本もサッパリ読まなくなりました。」など、ゲーム以外に気が向かなくなることへの懸念もあった。

【子どもが心配な時、親はどうかかわる？】

臨床心理士の森山沙耶さんより

大切なのは、家庭でルールを作ること。ルール設定は、小さなことから始めます。例えば、夜遅くまでゲームをしていて、翌朝学校に遅刻してしまうのなら、夜の終了時間を設定する。支障が出ているところからルールを設けます。ゲーム以外に他の楽しい活動にも目を向けられるようにすると良いでしょう。

ルールを守るためには、肯定的なコミュニケーションを取ることが重要です。ゲームに夢中な子どもを「困った子で手に負えない」と思い、叱責することが増えると、子どもは「親は自分を認めてくれない」という思いを抱くかもしれません。ゲームをするなかでは、友達から頼りにされたり、自分の役割を感じられたりしますから、いっそうゲームに傾倒してしまいます。そこから抜け出すためにはまず、子どもの状態を客観的に観察すること。例えば、自分からやめている時もあるかもしれません。その際、子どもができていることを見つけ、褒める。すると、子どもも親の言うことを受け入れやすくなるでしょう。

ゲームをやめられないのは「駄目な子」だからではなく、自分でゲームをやめるというスキルをまだ持っていないだけ。「何時間まで」と約束しても、すぐには守れないかもしれませんが、声を掛けたりしながら、ルールを守ることが自分にとってもプラスだと感じられるように親がかかわっていく。ペアレンタルコントロール(子どもの利用を制限する機能)などを活用したうえで、根気強く寄り添いましょう。

ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネット週間中です。また、体調管理のためにも、『早寝・早起き・朝ごはん』、『十分な睡眠(休息)』が大切です。遅刻・欠席・登校しぶりも増えています。お子様の生活の様子のご確認(必要なら見直し)をお願いします。